

「胸腹部腫瘍に対する Audio-visual feedback を用いた息止め放射線治療時の患者個別の息止め再現性に関する後方視的比較」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2008 年 1 月から 2025 年 4 月に山梨大学医学部附属病院放射線治療センターで、胸腹部に対するアブチェスを使用した息止め放射線治療を実施した患者さんのうち、視覚情報と音声情報の双方による息止め練習を実施した患者さん

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2025 年 8 月 1 日

4. 研究の目的

本研究は胸腹部腫瘍に対する息止め放射線治療において、視覚情報と音声情報の双方による息止め精度向上につながる要因を調査することです。本研究で得られた知見を用いて、患者さん毎に最適な息止め手法をなるべく早くご提案することができれば、患者さんの事前のご負担を可能な限り軽減した形で安心して放射線治療に臨むことが可能となります。

5. 研究の方法

本研究には、対象の患者さんの視覚情報と音声情報の双方による息止め練習時の CT 画像および検査情報を使用させていただきます。息止めの上手さについては、研究者が適切に算出して、患者さん毎の視覚情報および音声情報を用いた際の息止めの上手さの関係性について解析を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ 等

試料：該当なし

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 医学部放射線医学講座

教授 大西 洋

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

＜照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞

山梨大学 医学部放射線医学講座 助教 齋藤正英

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部 放射線医学講座

メールアドレス：masahides@yamanashi.ac.jp

Tel：055-273-9579